

平成27年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年4月3日  
東

上場会社名 暁飯島工業株式会社 上場取引所  
 コード番号 1997 URL <http://www.eazima.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荻津 仁彦 (TEL) 029-244-5111  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 藤沼 一男  
 四半期報告書提出予定日 平成27年4月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年8月期第2四半期の業績(平成26年9月1日～平成27年2月28日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第2四半期	3,385	△0.6	318	116.0	320	110.9	201	134.4
26年8月期第2四半期	3,404	22.1	147	27.9	152	23.1	86	24.6
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年8月期第2四半期	194.76		—					
26年8月期第2四半期	80.25		—					

(注) 平成27年3月1日を効力発生日として、10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年8月期第2四半期	6,449	2,732	42.4
26年8月期	6,237	2,549	40.9

(参考) 自己資本 27年8月期第2四半期 2,732百万円 26年8月期 2,549百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年8月期	—	0.00	—	4.00	4.00
27年8月期	—	0.00	—	—	—
27年8月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月1日を効力発生日として、10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、平成27年8月期(予想)の期末配当金については、当該株式併合による影響を考慮しております。

3. 平成27年8月期の業績予想(平成26年9月1日～平成27年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	4.7	500	24.7	480	12.5	300	20.0	289.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月1日を効力発生日として、10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、1株当たり当期純利益は、当該株式併合後の株式数を基にして算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年8月期2Q	1,100,000株	26年8月期	1,100,000株
27年8月期2Q	63,785株	26年8月期	63,694株
27年8月期2Q	1,036,276株	26年8月期2Q	1,073,049株

平成27年3月1日を効力発生日として、10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
5. 補足情報	9
(1) 受注及び売上の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策を背景に株価上昇と円安が進行し、企業収益の改善や雇用環境の好転がみられるなど、緩やかな景気の回復基調で推移いたしました。しかしながら、国内の個人消費は消費税増税の反動減による停滞が長引いており、中国をはじめとする新興国経済の減速や原油価格の急落、さらには地政学的リスクなどの海外要因も加わることにより、引き続き不透明感が残る状況が続いております。

建設業界におきましては、政府建設投資は震災復興事業が下支えとなり底堅く推移し、民間建設投資も緩やかな回復の兆しがみられるものの、熾烈な受注競争に加え、技術労働者不足と建設資材の価格高騰に伴う建設コストの上昇により依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社は引き続き工事利益率及び営業利益率の向上を目標に、受注時採算性の強化、原価管理及び施工管理の徹底、諸経費削減などの施策を実施してまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の業績は、受注高は前年同四半期比54.4%増加の41億61百万円となりましたが、売上高につきましては、前年同四半期比0.6%減少の33億85百万円となりました。

損益面におきましては、営業利益は工事利益率の向上などから前年同四半期比116.0%増加の3億18百万円、経常利益は同じく110.9%増加の3億20百万円となりました。また、最終損益につきましても、同じく134.4%増加の2億1百万円の四半期純利益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### （設備事業）

設備事業の受注工事高は前年同四半期比54.4%増加の41億61百万円となりましたが、完成工事高は前年同四半期比0.6%減少の33億66百万円となりました。営業利益は71.7%増加の4億25百万円となりました。

#### （その他事業）

その他事業の売上高は前年同四半期比1.1%減少の19百万円、営業利益は同じく7.8%減少の8百万円となりました。

なお、各セグメントに配分していないセグメント利益の調整額は、全社費用の1億14百万円であり、主に各セグメントに帰属しない一般管理費であります。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産、負債及び純資産の状況）

当第2四半期会計期間における資産合計は、前事業年度末に比べ2億12百万円増加し、64億49百万円となりました。その要因は、主に売上債権の増加によるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ29百万円増加し、37億17百万円となりました。その要因は、主に仕入債務の増加によるものであります。

また、純資産は、前事業年度末に比べ1億82百万円増加し、27億32百万円となりました。その要因は、主に四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、32百万円増加し18億4百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益を計上し、売上債権が増加したものの、仕入債務の増加などから2億41百万円の収入超過（前年同四半期は1億14百万円の支出超過）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の償還などから33百万円の収入超過（前年同四半期は29百万円の支出超過）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の減少などから2億41百万円の支出超過（前年同四半期は72百万円の支出超過）となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年8月期の業績予想につきましては、平成26年10月15日の「平成26年8月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」にて公表いたしました通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成27年3月27日発表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	1,785,292	1,818,061
受取手形・完成工事未収入金等	1,390,358	1,551,891
未成工事支出金	102,576	139,879
繰延税金資産	34,530	36,290
その他	126,276	116,761
貸倒引当金	△12,870	△14,420
流動資産合計	3,426,164	3,648,464
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	1,195,993	1,195,993
減価償却累計額	△905,807	△916,557
建物・構築物（純額）	290,185	279,435
土地	2,160,682	2,160,682
その他	15,451	15,671
減価償却累計額	△13,860	△14,207
その他（純額）	1,590	1,464
有形固定資産合計	2,452,458	2,441,582
無形固定資産	962	840
投資その他の資産		
投資有価証券	329,345	326,501
その他	28,960	32,586
貸倒引当金	△140	△140
投資その他の資産合計	358,165	358,947
固定資産合計	2,811,586	2,801,371
資産合計	6,237,751	6,449,836

（単位：千円）

	前事業年度 (平成26年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金	1,323,919	1,620,677
短期借入金	1,180,000	1,150,000
1年内返済予定の長期借入金	231,214	175,400
1年内償還予定の社債	65,000	50,000
未払法人税等	142,435	122,681
未成工事受入金	181,134	155,701
完成工事補償引当金	3,780	3,770
賞与引当金	65,660	63,820
役員賞与引当金	7,600	-
その他	65,497	36,921
流動負債合計	3,266,241	3,378,971
固定負債		
社債	95,000	70,000
長期借入金	244,300	169,100
繰延税金負債	10,083	22,125
退職給付引当金	53,799	58,627
その他	18,445	18,904
固定負債合計	421,628	338,757
負債合計	3,687,869	3,717,728
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,408,600	1,408,600
資本剰余金	3,705	3,705
利益剰余金	1,209,606	1,369,974
自己株式	△90,446	△90,583
株主資本合計	2,531,464	2,691,695
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	18,417	40,411
評価・換算差額等合計	18,417	40,411
純資産合計	2,549,881	2,732,107
負債純資産合計	6,237,751	6,449,836

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)
<b>売上高</b>		
完成工事高	3,385,119	3,366,170
その他の事業売上高	19,713	19,505
売上高合計	3,404,832	3,385,675
<b>売上原価</b>		
完成工事原価	3,061,700	2,865,973
その他の事業売上原価	10,531	11,042
売上原価合計	3,072,231	2,877,015
<b>売上総利益</b>	<b>332,600</b>	<b>508,659</b>
<b>販売費及び一般管理費</b>		
従業員給料及び手当	65,356	63,795
賞与引当金繰入額	13,990	18,760
退職給付費用	7,249	7,382
貸倒引当金繰入額	2,150	1,550
その他	96,182	98,184
販売費及び一般管理費合計	184,928	189,672
<b>営業利益</b>	<b>147,672</b>	<b>318,987</b>
<b>営業外収益</b>		
受取利息	508	176
受取配当金	3,167	7,400
投資有価証券売却益	2,534	-
仕入割引	3,685	4,521
受取地代家賃	4,470	4,362
償却債権取立益	7,423	-
その他	4,145	2,362
営業外収益合計	25,934	18,823
<b>営業外費用</b>		
支払利息	17,818	16,272
その他	3,584	576
営業外費用合計	21,402	16,848
<b>経常利益</b>	<b>152,203</b>	<b>320,962</b>
税引前四半期純利益	152,203	320,962
法人税、住民税及び事業税	68,682	120,901
法人税等調整額	△2,588	△1,759
法人税等合計	66,094	119,142
<b>四半期純利益</b>	<b>86,109</b>	<b>201,820</b>

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	152,203	320,962
減価償却費	11,189	11,217
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,150	1,550
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	1,790	△10
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	5,900	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,990	△1,840
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,500	△7,600
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,453	4,828
受取利息及び受取配当金	△3,675	△7,577
支払利息	17,818	16,272
有価証券償還損益 (△は益)	-	△477
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,534	-
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,388	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△126,647	△157,891
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△22,000	△37,302
仕入債務の増減額 (△は減少)	207,229	296,757
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△217,521	△25,433
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△9,547	△2,060
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△7,625	△16,441
その他	△99,713	△6,913
小計	△93,633	388,040
利息及び配当金の受取額	3,245	7,652
利息の支払額	△18,273	△15,156
法人税等の支払額	△6,099	△139,408
営業活動によるキャッシュ・フロー	△114,760	241,128
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△100,000	-
有価証券の売却及び償還による収入	100,000	-
有形固定資産の取得による支出	-	△220
無形固定資産の取得による支出	△165	-
投資有価証券の取得による支出	△102,349	-
投資有価証券の売却及び償還による収入	72,432	36,980
その他	547	△3,327
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,534	33,432
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	△30,000
長期借入れによる収入	200,000	-
長期借入金の返済による支出	△120,496	△131,014
社債の償還による支出	△40,000	△40,000
自己株式の取得による支出	△68,799	△137
配当金の支払額	△43,381	△40,639
財務活動によるキャッシュ・フロー	△72,677	△241,791
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△216,972	32,769
現金及び現金同等物の期首残高	1,584,245	1,771,292
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,367,273	1,804,061

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 受注及び売上の状況

①受注実績（累計）

区分	前第2四半期累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)		当第2四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)		増減 (△は減)		(参考) 前事業年度 (平成26年8月期)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
設備事業								
建築設備工事	1,363,189	50.6	2,756,180	66.2	1,392,991	102.2	3,452,093	52.2
リニューアル工事	1,284,105	47.6	1,313,389	31.6	29,284	2.3	2,831,700	42.8
土木工事	—	—	36,500	0.9	36,500	—	—	—
プラント工事	—	—	—	—	—	—	—	—
ビルケア工事	48,657	1.8	55,289	1.3	6,631	13.6	329,214	5.0
設備事業合計	2,695,952	100.0	4,161,359	100.0	1,465,406	54.4	6,613,008	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②売上実績（累計）

区分	前第2四半期累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)		当第2四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)		増減 (△は減)		(参考) 前事業年度 (平成26年8月期)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
設備事業								
建築設備工事	2,166,688	63.6	1,492,401	44.1	△674,287	△31.1	3,989,510	59.7
リニューアル工事	1,040,005	30.6	1,690,940	49.9	650,934	62.6	2,311,650	34.6
土木工事	1,065	0.0	13,348	0.4	12,283	—	4,246	0.0
プラント工事	—	—	—	—	—	—	—	—
ビルケア工事	177,360	5.2	169,481	5.0	△7,879	△4.4	343,620	5.1
設備事業合計	3,385,119	99.4	3,366,170	99.4	△18,948	△0.6	6,649,027	99.4
その他事業								
不動産事業	19,713	0.6	19,505	0.6	△207	△1.1	38,865	0.6
その他事業合計	19,713	0.6	19,505	0.6	△207	△1.1	38,865	0.6
合計	3,404,832	100.0	3,385,675	100.0	△19,156	△0.6	6,687,892	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。